

平成 29 年度 つむぎ高梁

事業報告書

【管理者：佐分利 真夕】

(1) 基本方針と運営実績

年間を通しては、順調に契約者数も伸び、利用延べ件数は目標をほぼ達成することができている。H30年度は年長児が多く、H31年度放課後等デイサービスの利用児が増える見込みがある。

「利用児の困り感に寄り添うこと」「保護者の思いに寄り添うこと」を大切にプラン立てを行い支援を実施してきた。利用児の困り感と保護者の思いにずれがある場合もあるため、それをすり合わせていく専門的な知識やコミュニケーション能力は今後各スタッフに求められるスキルと感じる。

組織の中の役割において責任の所在を明確にしていくことで、それぞれのスタッフが業務に責任感を持つことができている。

(2) 事業所(療育部門)運営方針と運営実績

①利用者の幸せの追求

*根拠のあるプラン作成の実施 (1回/半年)

達成：各職員が根拠あるアセスメントシートを活用し、利用児の現在の様子を客観的に評価することで、統一した通所支援計画の作成が可能となった。計画作成時に必要な文言の整理、サービス等利用計画も反映させた作成ができている。

*各職員による統一されたアセスメントの実施 (随時)

(KIDS、太田ステージ、人との関わりレベルシート、視覚認知)

達成：各アセスメントの評価シートの整備をしたため、その評価シートに沿って各職員が取り組んでいる。

・親子活動の活動内容の充実 (親子遠足の実施 春・秋)

達成：5月21日、9月10日に親子遠足の実施。ハイランド公園、新城池公園にて親子活動を行う。

*安全チェックの確実な実施 (毎月月末)

達成：安全チェック表に沿って、各職員が確認点検を実施している。管理者が月末に全体周知を行うことで、忘れが減ったように感じる。今後も管理者が周知を行い確認点検の徹底に努める。

*掃除分担チェックの確立 (5月までに整備)

達成：トイレのチェックボードを作成し、佐々木 t、藤原 t が確認機能を担っている。

*ハッピーサークル

達成：月1回の活動に関してはすべて実施済み。茶話会、学習会を軸に、親子イベント、地域イベントへの出店、講演会の開催もできた。

継続：広報活動の一環として、市民提案型まちづくり事業への参加、高梁市 HP への中間報告、高梁市福祉フォーラム出店、会長による宣伝活動や、先輩保護者としての講話など行った。市・長への周知、会員数の幅を広げていくことは次年度の課題。

②組織安定と発展の追求

*ヒヤリ、意見・苦情・要望の早期報告、解決実施の徹底

達成：ヒヤリ、意見・苦情・要望について随時報告があがっている。今後は wawa を活用し、所定書

式にて情報の共有、周知を徹底する。

***自主点検の実施（6月、12月）**

未達成：6月に行った。自主点検に伴い、虐待防止の研修を行った。12月は実施者の認識不足として実施出来ていない。今後は戦略会議の際にチェックを行う。

***ホームページの本格的な始動と見直し(事業変更時)**

継続：11月より本格的な始動。今後の見直しに関しては、依頼業者よりマニュアルをもらい、それにそって修正。管理をマネージャーとする。

***フェイスブックの定期的な更新（親子活動1回/月、ハッピーサークル）**

達成：12月頃より、1回/週ペースでの更新が実施できた。それに加え、ハッピーサークルの情報や環境改善を図った時などにも随時写真付きで記事アップ。記事になりそうな情報を常にリサーチしておく意識が必要。

***目標実績の管理(毎月)**

未達成：年間を通して児童発達支援は目標達成、放課後等デイサービスは未達成となっている。目標実績を意識し、振り替え等も行ったが、中学生以降の利用児は様々な要因で、お休みになりやすいと考えられる。今後も目標実績を意識して取り組み、必要に応じて目標値に迫るような手立てを講じていきたい。

③つどう人の幸せの追求

・新人職員のOJT実施（6月、9月、12月、3月）

未達成：第1回目のOJTは実施しているが、それ以降は取り組めていない。今後は戦略会議の際にチェックを行う。

***目標管理活動の実施（9月、3月）**

未達成：4月の第1回目の目標管理は実施しているが、それ以降は取り組めていない。今後は戦略会議の際にチェックを行う。

***職員研修の実施**

書籍回覧、DVD回覧（随時） 研修・勉強会（1回/3ヵ月土曜日PM）

達成：書籍、DVDの回覧の実施。月に1回の支援会議にて「児童発達デイサービスについて・放課後等デイサービスについて」などのつむぎで働く上で必要な知識を確認している。また、12月9日、2月10日に職員向け学習会を実施。

***親睦会の開催(5月、9月、1月、3月)**

達成：5月、9月に職員親睦会、1月に職員家族親睦会、3月に保護者親睦会を実施。

(3) 事業所(地域部門)運営方針と運営実績

①利用者の幸せの追求

***視覚認知アセスメントの実施**

達成：アセスメントシートを作成実施した。苦手なところの把握と支援を行った。

***WISC-III・IVの検査結果とコグトレ課題選択のシステム整備（9月末までに整備）**

達成：マニュアルを作成し、実施した。現在はコグトレアセスメントシートに移行している。

***本人説明（つむぎを利用する目的など）に必要なツールの作成（7月末までに整備）**

未達成：本人に伝える情報量や内容、伝える目的が個々に違うことから、統一したものが必要かどうかをH30年度に再度検討する。

*クールダウンエリアの確保（8月末までに整備）

継続：エリアの固定はできていない。ランチルーム、相談エリア、ワークエリアを状況に応じて使用した。プレイエリアの集団や音から離れたたいという訴えが時々ある。職員の配置上ワークエリアの利用が見守りやすかった。

*保育所等訪問支援に、訪問会議も加えて実施（10件／月）

未達成：園・学校からの要望を受けて訪問支援時間内に先生との面談を行った。対象児以外の相談が増えている（基本相談で対応）。訪問会議のみでの実施は年間6件。学童の困難ケースは定期的なスクラム会議の実施となった。情報の共有が充分にできるような仕組みを今後も考えていく。

*余暇活動つむぎサークルの実施（土曜日：4～5回／月 日曜日：1回／月）

達成：上半期は4～5回実施。日曜日は中学生の利用を見込んだが少なかった。11月より、職員配置上の都合により2～3回実施し、利用の少ない日曜日は閉所とした。

*安全チェックの確実な実施（毎月月末）

療育部門と同様

*ハッピーサークル…広報活動と会員の増加 保護者が情報收拾、情報提供できる場の提供（1回／月）

療育部門と同様

②組織安定と発展の追求

*ヒヤリ、意見・苦情・要望の早期報告、解決実施の徹底

療育部門と同様

*自己点検の実施（6月、12月）

達成：保育所等訪問支援の自主点検を行った。報酬改定による項目の追加を行う。

*ホームページの本格的な始動と見直し（事業変更時）

療育部門と同様

*フェイスブックの定期的な更新（つむぎサークル活動を中心に1回／2週）

12月頃から、つむぎ通信と合わせて実施。つむぎサークル活動での制作や活動の写真を掲載した。

*目標実績の管理（毎月）

目標達成している。

③つどう人の幸せの追求

*利用児の状況をスタッフ同士で、周知する時間を設定（火曜日から木曜日 17:30～15分程度）

達成：月に3回程度実施。支援状況や個々のケースについて情報共有と研修を行った。11月からは月に1回実施。

*目標管理活動の実施（9月、3月）

療育部門と同様

*職員研修の実施 書籍回覧DVD回覧（随時） 研修・勉強会（1回／3ヵ月土曜日PM）

療育部門と同様

*親睦会の開催（5月、9月、1月、3月）

療育部門と同様

(4) 年間行事

① ご利用者向け

行 事	計 画	実績と内容
保護者向け学習会		学習会座談会の実施 10月（管理者）11月（花巻優樹） 12月（渡邊）1月（花巻友里恵）2月（理事長）
親子遠足	5月	児童発達支援事業にて実施
保護者との親睦会	3月実施	前年度より恒例の親睦会を実施

② 職 員

行 事	計 画	実績と内容
スタッフ向け学習会	1回／3ヵ月	保護者向け学習会と合わせ、まとめて実施 12月（管理者、花巻優樹、渡邊） 2月（花巻友里恵、理事長）
職員親睦会	5月、9月、1月	前年度と同様スケジュールで親睦会を実施。

平成 29 年度 つむぎ吉備中央

事業報告書

【管理者：花巻友里恵】

(1) 基本方針と運営実績（管理者）

建物工事の補助金の関係上、予定よりも大幅に開所が遅れ、利用者延べ件数的には未達成となっている。

つむぎ吉備中央の宣伝は開所にあたり地域の園、学校関係、町などに実施。関係機関にはつむぎ吉備中央の名前は広がっている。ただ、周知から利用への移行はゆっくりなペースである。

支援体制について、療育部門に関してはつむぎ高梁に準ずる体制で整備を進めている。利用時が少ない現状を考慮し、つむぎ高梁での研修なども実施し、実際に支援できる時間を確保できるようにしている。

地域の社会資源面がつむぎ高梁とは違い少ないため、スタッフも気分転換ができ、前向きに業務に当たれる工夫が必要。

(2) 事業所(療育部門)運営方針と運営実績

①利用者の幸せの追求

*各職員による統一されたアセスメントの実施（随時）

（K I D S、太田ステージ、人との関わりレベルシート、視覚認知）

未達成：各アセスメントにおける評価シートに沿って、各職員が必要なアセスメントを実施できるように研修していく。

*根拠ある個別プラン作成の実施（1回／半年）

未達成：各職員がアセスメントシートを活用し、利用児の様子を客観的に評価すること・相談機関のサービス等利用計画と連携した内容での計画の作成を目指していく。

*安全チェックの実施（毎月月末）

達成：安全チェック表に従って、各職員が点検を実施している。毎月の提出期限を決めていることで、各職員が意識して取り組んでいる。期日前には提出確認を行っている。

*掃除分担チェックの確立

達成：利用児が少なかった為、各職員が意識して手が空いた時間に実施出来ていた。30年4月からは分担チェック表を導入する。

②組織安定と発展の追求

*広報活動の実施

地域関係機関への事業内容の周知（8月、9月）ホームページへの掲載（11月）

達成：校園長会にて事業説明（佐分利理事長）、つむぎホームページへの掲載、吉備中央町内の幼・保・こども園・学校（小・中）への挨拶回りを実施している。

*ヒヤリ、意見・苦情・要望の早期報告、解決実施の徹底（随時）

達成：ヒヤリ、意見・苦情・要望について報告があがっている。今後も情報の共有・周知を徹底していく。

*自主点検の実施（年度末）

未達成：高梁の時期に合わせ、必ず実施していく。

* 目標実績の管理（毎月）

未達成：開所が大幅に遅れたこと・利用数が伸び悩んだこともあり、年間で未達成となっている。
丁寧な支援を実施していくことを中心に、引き続き利用者が増えるよう策を講じていきたい。

③ つどう人の幸せの追求

* 職員研修の実施

書籍回覧、DVD回覧（随時）研修・勉強会

達成：法人全体の職員勉強会へ参加している。今後、吉備中央での職員研修の時間を増やしていく。

* 職員親睦会の開催（1月、3月）

達成：1月・3月親睦会の実施。

(3) 年間行事（児発・放デイ）

③ ご利用者向け

行 事	計 画	実績と内容
保護者向け学習会		学習会座談会の実施 10月（管理者）11月（花巻優樹） 12月（渡邊）1月（花巻友里恵）2月（理事長）
保護者との親睦会	3月実施	参加なし

④ 職 員

行 事	計 画	実績と内容
ケースカンファレンス	随時	通所計画作成時をベースにCの状況、目標設定の 共通理解を図る
スタッフ向け学習会	1回/3ヵ月	保護者向け学習会と合わせ、まとめて実施 12月（管理者、花巻優樹、渡邊） 2月（花巻友里恵、理事長）
職員親睦会	5月、9月、1月	前年度と同様スケジュールで親睦会を実施

平成 29 年度 たかはし地域生活支援センター 事業報告書

【管理者：佐分利 尚孝】

(1) 基本方針と運営実績

契約者数も増え一名の相談体制では限界の状況になってきた。次年度は複数体制に移行するとともに、組織で相談体制を実施することができる体制整備に努めたい。

又、つむぎ吉備中央の開設に伴い、吉備中央町の児童のケースの契約も確実に増えてきている。吉備中央町は今までに地域に療育機関が不足していただけに、療育の必要性や効果を地域の中で感じていただくことができるような相談支援を心掛けていきたい。

(2) 事業所運営方針と運営実績

①利用者の幸せの追求

- ・ペアレントプログラムの実施
- ・要保護児童のケースの増加

②組織の安定と発展の追求

- ・相談支援における支援体制の整備

③つどう人の幸せの追求

- ・平成 32 年度末 地域活動支援センター I 型、地域生活支援拠点 の設置に向けて(高梁市)
 - ・平成 32 年度末 児童発達支援センターの整備(吉備中央町)
- 上記の支援を担うことができる体制を整えていく。

(3) 年間行事

- ・ペアレントプログラムの実施
- ・つむぎシリーズ講座の企画